

## SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 1 月 23 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
持続できる継続的な目標を常に意識し達成しながら、サプライチェーンとしてエッセンシャルワーカーの働く環境と安全な運行をイノベーションし続けていること。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
運送事業者で有る限り大気汚染への環境に配慮する義務が有り、率先して燃費走行や環境に配慮したトラックの購入に努める。働く環境を常に意識することでジェンダーへの意識を深め、社内だけでなく住んでるまちの環境にも意識を向けていく。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	1.3・最賃割れを起こさないように、荷主様との運賃交渉を今後も継続的に行なっていく。 1.3・損害保険により災害時におけるリスクを継続的に担保する。	○継続的な荷主への運賃交渉を継続 2022年10月より静岡県最賃上げに伴い、基本給のベースUP  ○継続契約及び見直しを図る。	1.3・最賃割れを起こさないように、荷主様との運賃交渉を今後も継続的に行なっていく。 1.3・損害保険により災害時におけるリスクを継続的に担保する。
	3.4・マスクの無料配布、消毒液の常設 3.4・定期健康診断の完全実施（深夜労働者は2回） 3.4・健康経営を軸とした診断内容の拡充に努める。 3.5・アルコールチェックの実施 3.6・道路交通事故撲滅の為に交通・労働安全衛生会議の実施 3.6・運輸安全マネジメントを活用し、更なる事故防止と労働災害防止撲滅に努める。 3.7・育児介護休業等の実施及び環境整備を整える。 3.8・インフルエンザ予防接種費用の全額補助 3.9・常に車輛代替を実施、率先して排ガス規制に対応 3.a・紙タバコから電子タバコへの代替推進を図る。	■左上記項目は全て継続的に実施した。  ○診断内容を見直し適齢年齢に達した健康診断内容の拡充を図った。健康診断の完全実施。  ○新たなアルコールチェック機能を導入した。  ○大幅に事故が減少した。  ○実施者の要望に応え、育児休業を実施できたが、環境整備の拡充が今後も必須とみられる。  ○車両の代替が遅れている。車両メーカーの生産の遅れが大きい。	3.4・マスクの無料配布、消毒液の常設 3.4・定期健康診断の完全実施（深夜労働者は2回） 3.4・健康経営を軸とした診断内容の拡充に努める。 3.5・アルコールチェックの実施 3.6・道路交通事故撲滅の為に交通・労働安全衛生会議の実施 3.6・運輸安全マネジメントを活用し、更なる事故防止と労働災害防止撲滅に努める。 3.7・育児介護休業等の実施及び環境整備を整える。 3.8・インフルエンザ予防接種費用の全額補助 3.9・常に車輛代替を実施、率先して排ガス規制に対応 3.a・紙タバコから電子タバコへの代替推進を図る。
	4.4・各種資格試験等を継続的に補助し、技術的・職業的スキルの向上を常に図っていく。	○2022年は受講者があり、上級免許の取得や、フォークリフト運転技術向上がみられた。	4.4・各種資格試験等を継続的に補助し、技術的・職業的スキルの向上を常に図っていく。
	5.4・継続して男女共同参画社会づくりへの参加。 5.5・継続して積極的な女性従業員の採用。	○継続して参加をしている。  ○継続して積極的に採用を試みている。	5.4・継続して男女共同参画社会づくりへの参加。 5.5・継続して積極的な女性従業員の採用。
	6.2・衛生的なトイレを継続して維持していく。	○毎日の清掃を欠かさず、衛生的なトイレを維持できた。	6.2・衛生的なトイレを継続して維持していく。
	7.3・継続して燃料消費量を数値化し、燃費向上に努める。 7.a・環境負荷の低いトラックを常に購入し、クリーンエネルギー技術への投資を促進する。	○デジタルタコグラフを有効活用し、燃費向上を継続的に行なうことができた。 ○2022年は代替ができなかった。	7.3・継続して燃料消費量を数値化し、燃費向上に努める。 7.a・環境負荷の低いトラックを常に購入し、クリーンエネルギー技術への投資を促進する。
	8.5・継続して同一労働同一賃金を実施、維持していく。	○同一労働同一賃金を継続実施できた。	8.5・継続して同一労働同一賃金を実施、維持していく。
	10.3・今後も適切な関連法規、政策、行動を促進し、機会均等を確保しながら、成果の不平等を是正していく。	○適切な行動を促進できた。成果の不平等の排除も維持できている。	10.3・今後も適切な関連法規、政策、行動を促進し、機会均等を確保しながら、成果の不平等を是正していく。
	13.2・低公害車、排ガス規制適合ディーゼル車を率先して導入していく。	○2022年はトラックの代替が促進できなかった。受注はしてあるものの、メーカーよりトラックが届かないため。	13.2・低公害車、排ガス規制適合ディーゼル車を率先して導入していく。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴール**について**目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	株式会社芦川商運	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	3 事業所
2	業 種	6. 運輸業	
3	従業員（構成員）数	60 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	芦川宗典
5	所 在 地	〒 420-8046	
		静岡市駿河区中島1309-1	
6	ホームページURL	<a href="http://www.ashikawa-shoun.com">http://www.ashikawa-shoun.com</a>	